

日本食道学会より

『食道GIST(消化管間質腫瘍)に関する全国調査』について

➤ 研究(調査)の目的と概略

GISTの臓器別発生頻度は、胃が60～70%を占め、残りは小腸20～30%、大腸5%、食道5%であり、食道GISTは非常に稀な疾患です。そのため食道GISTの病態は明らかになっておらず、適切な薬物治療や手術治療、予後や再発のリスクなどについてもコンセンサスは得られていません。そこで食道原発GISTの病態を明らかにするとともに、診断・治療に関するコンセンサスを構築するため、全国調査を実施いたします。

➤ 研究(調査)の方法

日本食道学会認定施設において、食道原発GISTのデータをアンケート形式で集積します。このアンケートのデータを解析することで、食道原発GISTの病態、診断、治療法について、現時点でのコンセンサスを構築します。

➤ 研究(調査)の参加施設

日本食道学会認定施設

➤ 調査期間

2010年1月1日～2017年6月30日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、食道GISTで治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることはありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません

➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：新井富生（東京都健康長寿医療センター 病理診断科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階

TEL/FAX: 03-6456-1339

E-mail: office@esophagus.jp